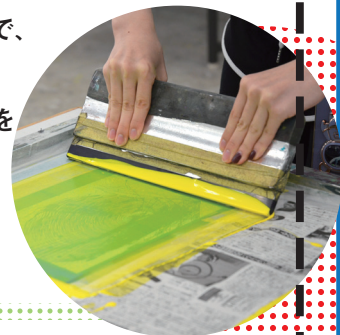


版画講座

シルクスクリーンプリントで
アートピースをつくらう

シルクスクリーンプリントによる作品は20世紀初頭にはアメリカのポップアートで、現代においてもアートシーンで大きな存在感を放ってきました。今回の講座では4色4版で作品を制作します。シルクスクリーンならではの表現を楽しみながら、唯一無二のアートピースを制作してみませんか？



日時

8月17日(土)

18日(日)

10:00~17:00

シルクスクリーンとは？

こうはん
孔版と呼ばれる版画技法で、仕組みとしてはステンシルに似ています。メッシュ状の版にインクをのせてインクを押し出すことで印刷をします。布への印刷もできるため、テキスタイルにも多く用いられてきました。

講師

えんどう りゅうた
遠藤 竜太(武蔵野美術大学教授)
ところ あきひろ
所 彰宏(版画家)

場所

上田市立美術館 市民アトリエ・ギャラリー

対象

高校生以上

定員

10名(申込多数の場合は抽選)

受講料

一般:4,200円 高校生:3,200円

持ち物

版画にしたい絵の下絵
(495mm×320mm以内、用紙はA2サイズです)
汚れても良い服装でご参加ください。

申込み

8/2(金)~8/9(金)までに
申込みフォームから
お申し込みください。



上田市立美術館 Ueda City Museum of Art

〒386-0025 長野県上田市天神三丁目15番15号TEL:0268-27-2300 受付時間9:00~17:00(火曜休館)

(画像提供:武蔵野美術大学グラフィックアーツ専攻/版画専攻)